

○現行の廃棄物処理計画の進捗状況

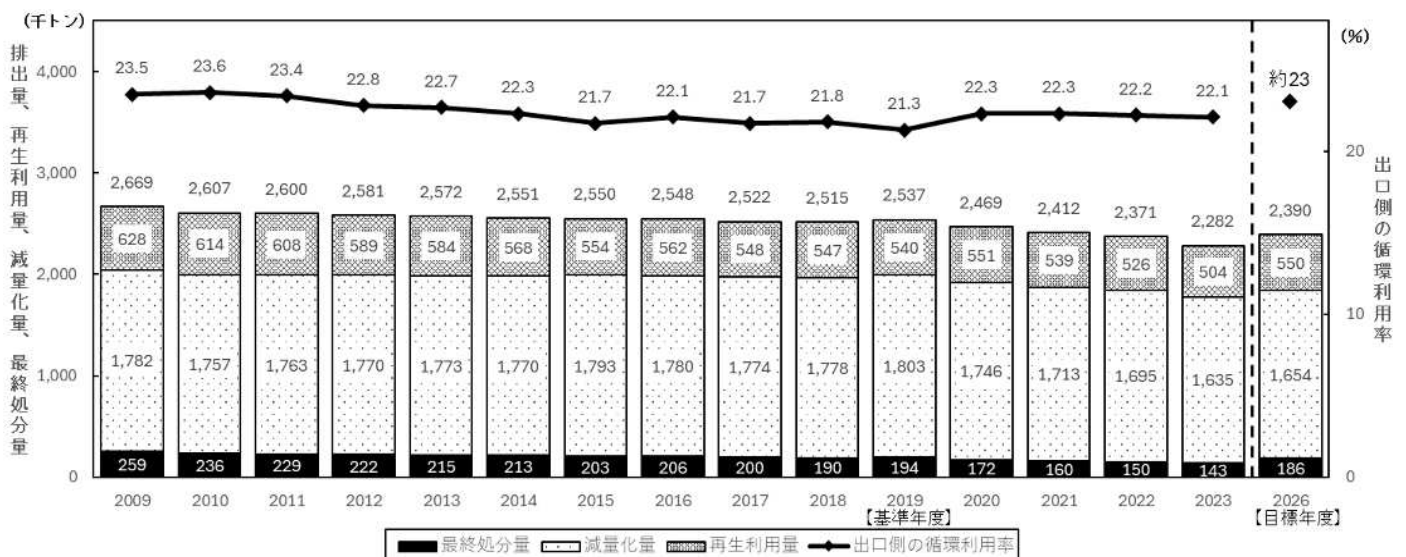
1 一般廃棄物

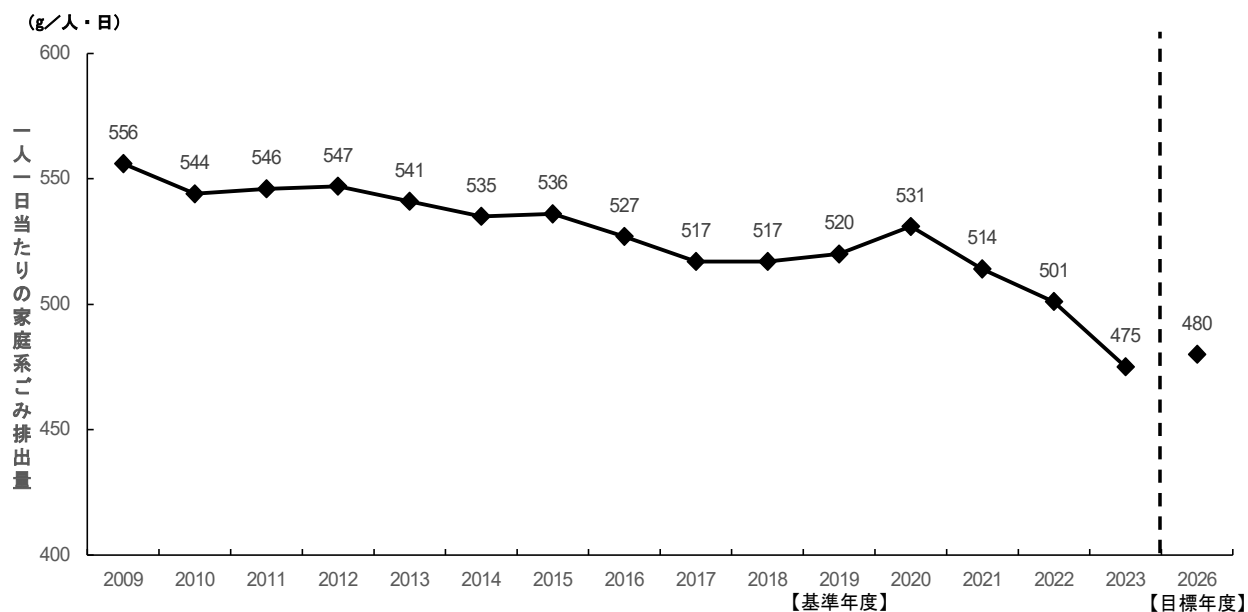
項 目	2026 年度 目標 () 内は 2019 年度比	基準年度 (2019 年度)	2023 年度 実績 () 内は 2019 年度比
排出量	239 万トン (約 6%減)	253 万 7 千トン	228 万 2 千トン (約 10.1%減)
出口側の循環利用率※ ¹	約 23% (約 2 ポイント増)	21.3%	22.1% (0.8 ポイント増)
最終処分量	18 万 6 千トン (約 4%減)	19 万 4 千トン	14 万 3 千トン (約 26.3%減)
一人一日当たりの 家庭系ごみ排出量※ ²	480 g (約 8%減)	520 g	475 g (約 8.7%減)

※¹ 廃棄物等の発生量のうち、循環利用量（再使用・再生利用量）の占める割合を表す指標
 $\text{総資源化量} / (\text{収集ごみ量} + \text{直接搬入ごみ量} + \text{集団回収量}) \times 100$

※² 一般廃棄物の一年間の総排出量から、事業系ごみ及び集団回収量、生活系資源ごみを差し引いて、一人一日あたりに換算したもの

- ・ 2023 年度の排出量は 2,282 千トンで、2019 年度の 2,537 千トンに比べて約 10.1%減少しました。経年的に減少傾向にあり、目標を上回りました。
- ・ 2023 年度の出口側の循環利用率は 22.1%で、2019 年度の 21.3%と比べ 0.8 ポイント増加しています。経年的に横ばい傾向であり、目標には至っていません。
- ・ 2023 年度の最終処分量は 143 千トンで、2019 年度の 194 千トンに比べて約 26.3%減少しています。経年的に減少傾向にあり、目標を上回りました。
- ・ 2023 年度の一人一日当たりの家庭系ごみ排出量は 475g で、2019 年度の 520g に比べて約 8.7%減少しています。経年的に減少傾向にあり、目標を上回りました。



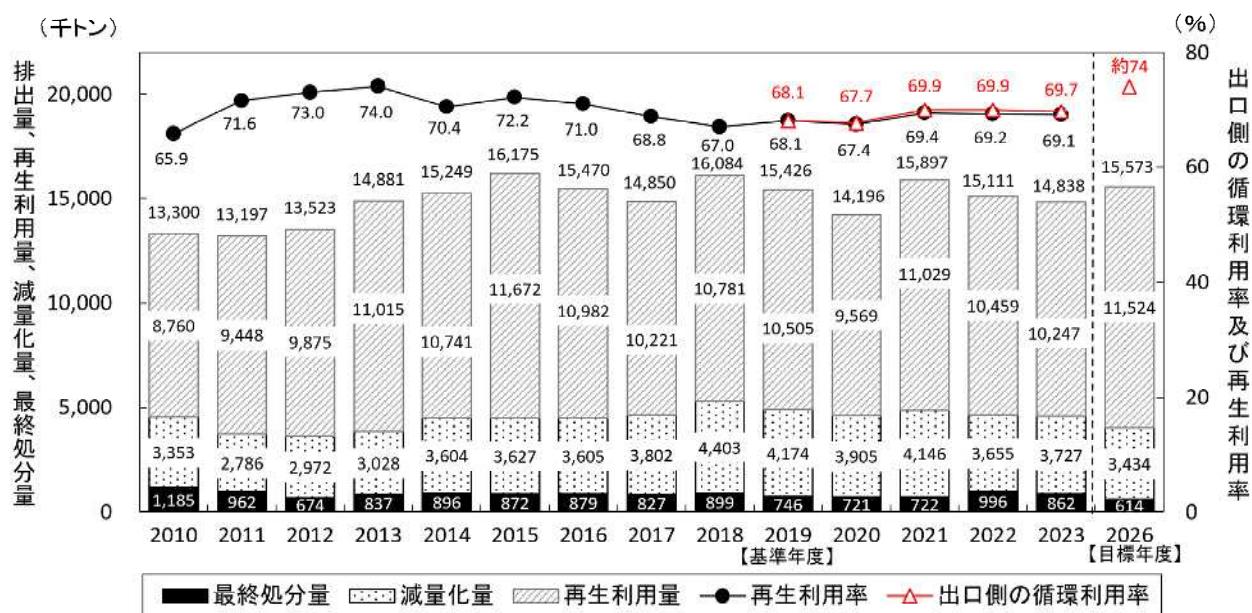


2 産業廃棄物

項 目	2026 年度 目標 () 内は 2019 年度比	基準年度 (2019 年度)	2023 年度 実績 () 内は 2019 年度比
排出量	1,557 万 3 千トン (約 1%増)	1,542 万 6 千トン	1,483 万 8 千トン (約 3.8%減)
出口側の循環利用率※ ¹	約 74% (約 6 ポイント増)	68.1%	69.7% (1.6 ポイント増)
最終処分量	61 万 4 千トン (約 18%減)	74 万 6 千トン	86 万 2 千トン (約 15.5%増)

※1 廃棄物等の発生量のうち、循環利用量（再使用・再生利用量）の占める割合を表す指標
 （再生利用量＋金属くず、ガラ陶、鉱さい、がれき類それぞれの減量化量－動物のふん尿の直接再生利用量）
 ／排出量×100

- ・2023 年度の排出量は 14,838 千トンであり、2019 年度の 15,426 千トンに比べて約 3.8%減少しています。経年的に横ばい傾向であり、目標を上回りました。
- ・2023 年度の出口側の循環利用率は 69.7%であり、2019 年度の 68.1%と比べ 1.6 ポイント増加しています。経年的に横ばい傾向にあり、目標には至っていません。
- ・2023 年度の最終処分量は 862 千トンであり、2019 年度の 746 千トンに対して約 15.5%増加しています。経年的に横ばい傾向であり、目標には至っていません。



3 食品ロス

<食品ロスの削減目標>

項 目	2026 年度 目標	計画策定時の現状 (2019 年度)
食品ロス発生量	433 千トン	480 千トン
家庭系	189 千トン	215 千トン
事業系	244 千トン	265 千トン

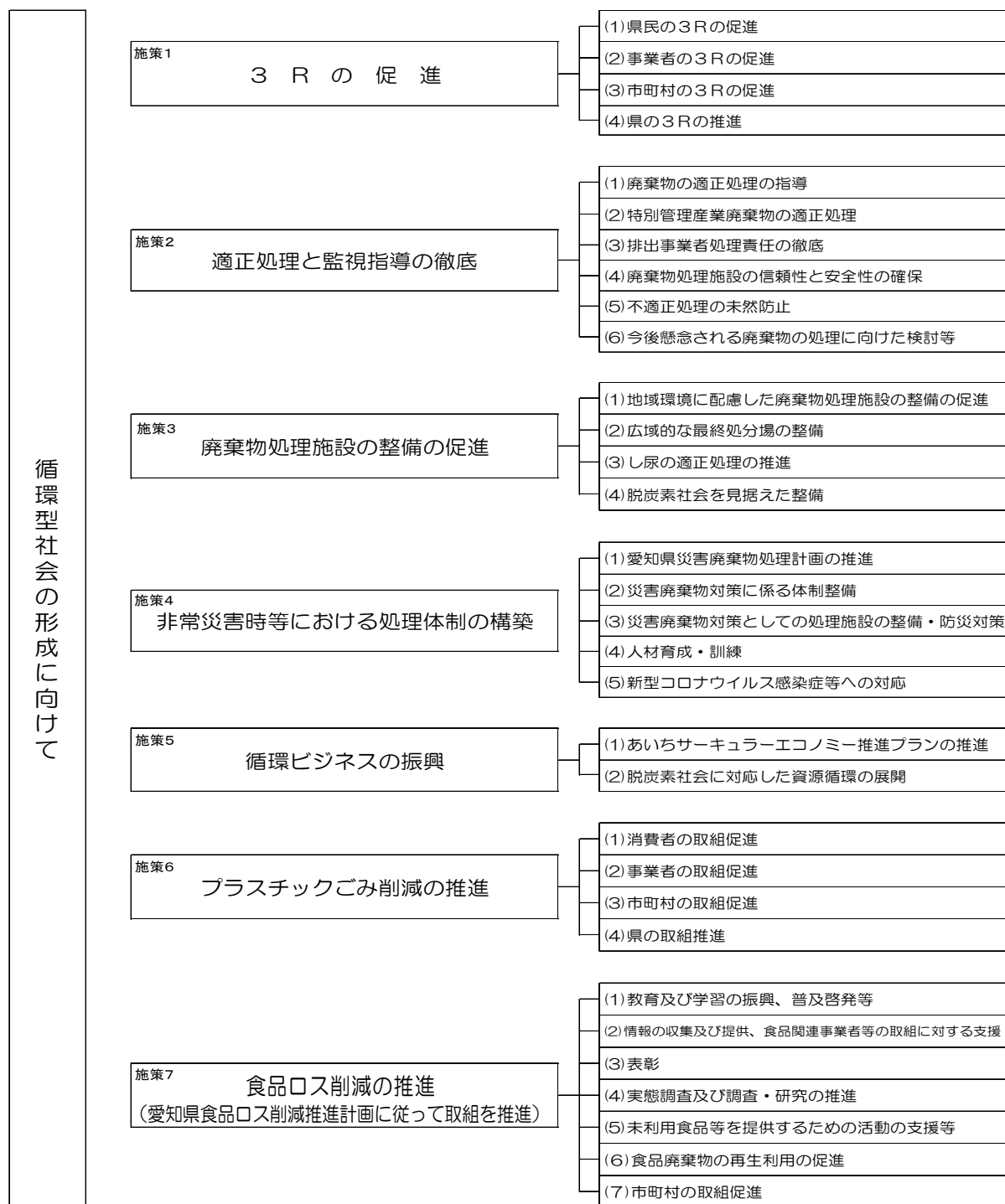
<県民意識の目標>

項 目	2026 年度 目標	計画策定時の現状 (2020 年度)
食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合	85%	82.6%

【主な取組（2022 年度～）】

- ・愛知県食品ロス削減 Web サイトによる情報発信（随時）
- ・食品ロス削減イベントの開催（毎年度 1 回開催）
- ・食品ロスに関する環境学習プログラムの活用（イベントでのブース出展 年 3 件程度）
- ・あいち食品ロス削減パートナーシップ制度の運用（登録事業者数 22 者（2025 年 12 月末現在））
- ・県内の食品ロスの排出実態把握調査（2024 年度：家庭系、2025 年度：事業系）
- ・イベント等でのフードドライブの実施（随時）
- ・市町村への啓発資材の貸出（随時）

○ 現行の廃棄物処理計画の施策体系図



○廃棄物処理計画の策定経緯

1973. 2	愛知県産業廃棄物処理計画（計画期間 1973～1977 年度）	産業廃棄物のみを対象とした廃棄物処理計画を策定。
1977. 4	第二次愛知県産業廃棄物処理計画（計画期間 1977～1981 年度）	
1982. 4	第三次愛知県産業廃棄物処理計画（計画期間 1982～1986 年度）	
1987. 4	第四次愛知県産業廃棄物処理計画（計画期間 1987～1991 年度）	
1992. 4	第五次愛知県産業廃棄物処理計画（計画期間 1992～1996 年度）	
1997. 4	第六次愛知県産業廃棄物処理計画（計画期間 1997～2001 年度）	
2002. 9	愛知県廃棄物処理計画（計画期間 2002～2006 年度）	2000 年の法改正により、一般廃棄物も含めた廃棄物処理計画を策定。 また、前計画から食品ロス削減推進法に基づく食品ロス削減推進計画を含めて策定。
2007. 3	愛知県廃棄物処理計画（計画期間 2007～2011 年度）	
2012. 3	愛知県廃棄物処理計画（計画期間 2012～2016 年度）	
2017. 3	愛知県廃棄物処理計画（計画期間 2017～2021 年度）	
2022. 2	愛知県廃棄物処理計画（計画期間 2022～2026 年度）	
2026 年度	次期愛知県廃棄物処理計画（計画期間 2027～2031 年度）（予定）	

○国の「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針」（2025 年 2 月変更）における、廃棄物の減量化の目標量等の目標値

指標	目標値（目標年度）
①一般廃棄物の排出量	令和 4 年度比約 9 %削減（令和 12 年度） ※40 百万トン（令和 4 年度）→約 37 百万トン（令和 12 年度）
②一人一日当たりの家庭系ごみ排出量	約 478 グラム（令和 12 年度） ※令和 4 年度は 496 グラム
③一般廃棄物の出口側循環利用率	約 26%（令和 12 年度） ※令和 4 年度は約 20%
④一人一日当たりごみ焼却量	約 580 グラム（令和 12 年度） ※令和 4 年度は 679 グラム
⑤一般廃棄物の最終処分量	令和 4 年度比約 5 %削減（令和 12 年度） ※3.4 百万トン（令和 4 年度）→約 3.2 百万トン（令和 12 年度）
⑥産業廃棄物の排出量	令和 4 年度比約 1 %増加に抑制（令和 12 年度） ※370 百万トン（令和 4 年度）→約 374 百万トン（令和 12 年度）
⑦産業廃棄物の出口側循環利用率	約 37%（令和 12 年度） ※令和 4 年度は約 37%
⑧産業廃棄物の最終処分量	令和 4 年度比約 10%削減（令和 12 年度） ※8.7 百万トン（令和 4 年度）→約 7.8 百万トン（令和 12 年度）
⑨廃棄物エネルギーを地域を含めた外部に供給している施設の割合	46%（令和 9 年度） ※令和 2 年度は約 41%
⑩一般廃棄物の最終処分場の残余年数	22.4 年分を維持（令和 12 年度） ※令和 4 年度は 23.4 年分
⑪産業廃棄物の最終処分場の残余年数	17 年分を維持（令和 12 年度） ※令和 4 年度は 20.8 年分